

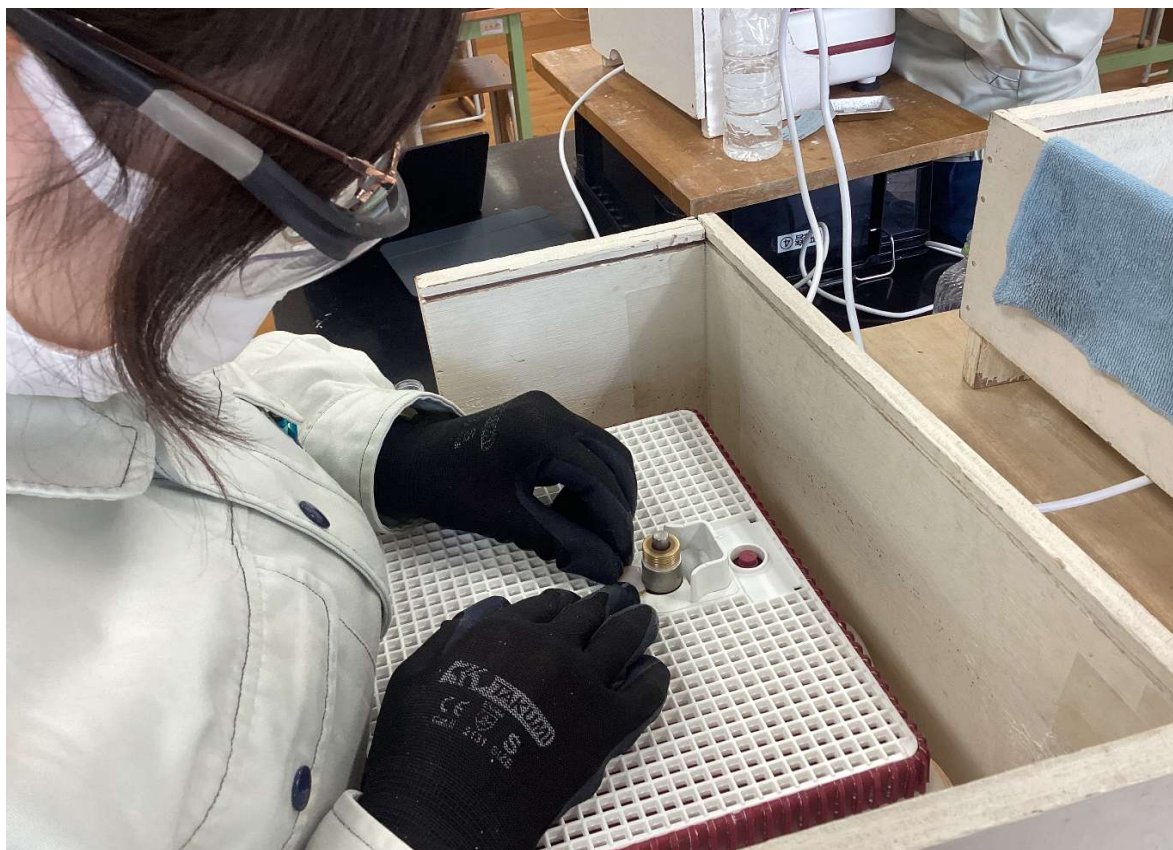
## 令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立静岡北特別支援学校 南の丘分校 P T A	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	69人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	ガラスルーター
使用学年及び人数	1～3年 作業学習:工業デザイン班 12人
使用頻度	年間を通して、1週間に約3日
使用状況	<p>作業学習(工業デザイン班)にて、スタンドガラスの技法でガラス板を加工して製品作り(ストラップやバッジ等)を行っている。ガラス板に罫書きした線に沿って削り、規格通りの大きさ(台形やダイヤ型)に形を整える作業でガラスルーターを活用している。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>これまで使用していたガラスルーターは消耗が激しく、水漏れがあったり、削り終わるまでに時間がかかったりしていた。新しく寄贈していただいたガラスルーターでは、削り終わるまでの時間が短縮され、作業効率が上がった。また新しいダイヤ刃によって削るときの力の微調整が可能となり、より正確な製品作りができるようになった。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>寄贈によりガラスルーターの台数が増えたため、生徒が4人同時に研磨作業に取り組むことができるようになった。 ダイヤ刃は研磨を繰り返すと消耗していくため、今後、定期的な交換が必要となる。</p>
その他希望や所感など	<p>ガラスルーターの数が増えたことで、班全体の作業効率が上がり、製品数を増やすことができている。</p>

## 2. 活用の様子



※ガラス板を罫書き線に沿って研磨している様子(台形に整えている)